

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和四年一月十三日発行（毎月一回十三日発行）
定価 五〇〇円

第964号

大蛇

蛇

高跳書道会
知龍

第七十八卷

新年試筆作品号

2月号

年
六
長
春

辛
年
立
秋

大
鉢
之
作

新
全
誠
筆

出間桂堂

滿堂和氣生嘉祥

出間桂堂

滿堂和氣生嘉祥

大黑仙雲

八風吹不動

八風吹不動

森本瓊象

老鶴萬里心

森本瓊象

老鶴萬里心

福原曉雲

壬寅年一月
歲次癸卯年
歲次癸卯年
歲次癸卯年

龜鶴年壽齊

龜鶴年壽齊

梅川桂龍

疎風影動林梢月宿雨涼生檻外山
疏影動林梢月宿雨涼生檻外山

廣末幽念

福壽綿々長似海 春風浩々氣如何
福壽綿々長似海 春風浩々氣如何

壬寅立秋
幽念

福壽綿々長似海 春風浩々氣如何

塚
地
桂
峰

迎

春
萬
物

知

大原桂園

迎春萬物知

鳥啼山更幽

桂園

鳥啼山更幽

野島桂山

春
透
多
聲
聞

桂山

春は鳥声を逐つて開く

一期一會

森本寿山

一華開五葉

一華開五葉

佐々木 港花

一期一會

森本寿山

一華開五葉

中 内 桂 香



爽
神

横 山 桂 華

桂華

すなほに咲いて白い花なり



前田秀華

風從虎

風從虎

江西澄翠

鳳閣雲飛舞
鳥歌花舞

鳥歌花舞

水田紅子

延壽萬歲

延壽萬歲

延壽萬歲

岡林翠

花一

黑
一
花

古路無人
跡深山何處鐘
亦深山何處鐘
翠雲鑄

大石千施
一
花

古路無人跡深山何處鐘

利 谷 喜 子

喜子

天 真

天真

小川理香

松竹水聲涼

清風動脩竹

松竹水聲涼

岡 崎 緑 水

高橋朱鳥

瑞烟呈福壽

瑞烟呈福壽

清風動脩竹

清風動脩竹

天野喜泉

松花伴鶴飛

天野喜泉

松花伴鶴飛

岩谷紅花

余始興公故為僚宦僕
與叔晦為代雅以文

紅花堂

余始興公故為僚宦僕與叔晦為代雅以文

岩河里華

有志竟成

里華書

有志竟成

石川美水

萬事莫如花下醉
百年渾似夢中狂

美水書

萬事莫如花下醉
百年渾似夢中狂

市原處艸

為せば成る

為せば成る

氏原美泉

春物自清美

美泉

春物自清美

大崎紫陽

長江何處來
杯裏搖光景

紫陽書

長江何處來杯裏搖光景

岡本空仁

萬法歸一

萬法歸一

岡林邦心

仰視則迢遙百尋下
臨則崢嶸千仞珠

仰視則迢遙百尋下
臨則崢嶸千仞珠

仰視則迢遙百尋下
臨則崢嶸千仞珠

大八木洋女

雲開萬壑春

洋女七

雲開萬壑春

奥堂皓月

瑞

霧

開

元日

皓月之

瑞霧開元日

岡田雄山

柏葉泛酒

柏葉泛酒

河村容舟

雪寒北嶺梅香南枝

亥年十一月

雪寒北嶺梅香南枝

片岡政徳

松花伴鶴飛

政徳畫譜

松花伴鶴飛

壽如金石佳辰好人
與梅花淡結鄰

壽如金石佳辰好人與梅花淡結鄰

壽如
金石佳辰好人與梅花淡結鄰

門田惠子

春雲五色開

門田惠子

春雲五色開

北村 桂 旭

海心酒一尊

桂旭書

論心酒一尊

佐竹江月

長樂無極

江月之書

長樂無極

隅田亘心

悠然見南山

悠然見南山

田村和子

可許臣請魯相爲孔子廟置百石卒
李信

可許臣請魯相爲孔子廟置百石卒

武 内 美 仁

昇 龍

原 桂 春

桃 千 歲 春

桃花千歲春

橋本祝子

丽麗

日發光華

宏業

祝子大

麗日發光華

浜崎洋堂

游

雲驚

龍

洋
大
書
一
通

游雲驚龍

弘田賀峰

狐月照寒泉

壬申立春

狐月照寒泉

藤原朱鳳

芳春開令序韶苑暢和風

朱鳳

芳春開令序韶苑暢和風

深瀨綠堂

一
も
可
能
性

深瀨
綠
堂

一花開天下春

中城康華

福
壽

康
華
體

福
壽

中平美峰

人生七十古來稀

美峰上閑

人生七十古來稀

西森令泉

梅花雪中香

令泉書

梅花雪中香

西山極山

春回雨點溪聲裏人醉梅花竹影中

破梅長計影中

林山子書

春回雨點溪聲裏人醉梅花竹影中

野中惠花

花發鳥啼千里心

林山子書

花發鳥啼千里心

丸田宏子

心驚春風花香

宏子書

山麗春風花香

森光望春

鶴舞春池月驚
碧樹風抄

宏子書

鶴舞春池月驚
碧樹風抄

山崎旭峰

人 生 感 意 氣

山崎
旭峰

人生感意氣

山崎
隆志

春
永
久
聲
開

山崎
隆志

春逐鳥聲開

山口美智子

山川四望寿

美智子上

山川四望寿

山川百合

鶴歌萬年春

百合上

鶴歌萬年春

山本惠歩

晴樹遠浮青嶂出
春江曉帶白雲流

吉田深美

山花迎客笑谷鳥避人啼

山花迎客笑谷鳥避人啼

晴樹遠浮青嶂出春江曉帶白雲流

蘭亭叙

東晉

王羲之

永和九年。歲在癸卯。暮春之初。會于會稽山陰之蘭亭。脩禊事也。
 也。羣賢畢。少長咸集。此地有崇山峻嶺。茂林脩竹。又有清流激湍。映帶左右。引以為流觴曲水。
 有崇山峻嶺。茂林脩竹。又有清流激湍。映帶左右。引以為流觴曲水。

永和九年。歲在癸卯。暮春之初。會于會稽山陰之蘭亭。脩禊事也。羣賢畢至。少長咸集。此地有崇山峻嶺。茂林脩竹。又有清流激湍。映帶左右。引以為流觴曲水。
 永和九年。歲在癸卯。暮春之初。會于會稽山陰之蘭亭。脩禊事也。羣賢畢至。少長咸集。此地有崇山峻嶺。茂林脩竹。又有清流激湍。映帶左右。引以為流觴曲水。

蘭亭叙

東晋

王羲之

王羲之の蘭亭叙の真筆は唐の手にありました、太宗の崩御に際し陵墓に入れられて真の姿がわからなくなりました。

次々と複製がくりかえされ真筆がわからなくなつたと云われています。この蘭亭叙に見る羲之の書はまことに秀麗で、自然な筆使いや強さはとても有名です。

春季昇段級試験作品募集

△師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)
(山行 施閨章)

○課題

野寺分晴樹
春深無客到
一 路落松花

野寺晴樹分ち、山亭晩霞過ぐ。
野寺に木々が日にくつきりと映え、山亭には夕暮れのものがだらう。このあたり、春色
深くたずねる人もなく、路を行けば松花が静かに落ちるのみである。松花は松黄ともいう。

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と三十ページ王羲之蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
- 当選者は本会師範に推举すること。
- 当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)
(課題)

林邊鳥語月微下、竹裏花飛春又深

林のあたりに鳥ないて月はやや斜めに、竹林に花散つて春は一段と深い。

- 右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と三十ページ王羲之蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計三點出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

△第二部

(受験資格 一般部級位の者)
(課題)

春風煦育 春風がそよ吹き万物はのびそだつ。煦は温たむ。

△硬筆作品

(毛筆部)

- 課題の文字は龍跳一月号(一月二十日締切)の課題字句とします。
- それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字でハツキリ記入のこと。
- 出品料 五百円

△作品の締切

令和四年三月三日(木)必着のこと。

△審査日時

令和四年三月六日(日)午前九時三十分より

△審査場所

高知城ホール

△受験作品送付先

〒七八三一〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山宛

○上記を楷行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷行、草の順に縦に貼つきすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

△学生・学童の部

(毛筆部)

- 課題字句「龍跳」一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。
- 規格は半紙。一人一点とします。

○書体は自由です。

○作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で)

○作品の表には絶対に書いてはいけませ

ん。

○出品料 五百円

梅
川
桂
龍
書

岐
路
無
為
在
莊

岐路に在りて爲す無けん

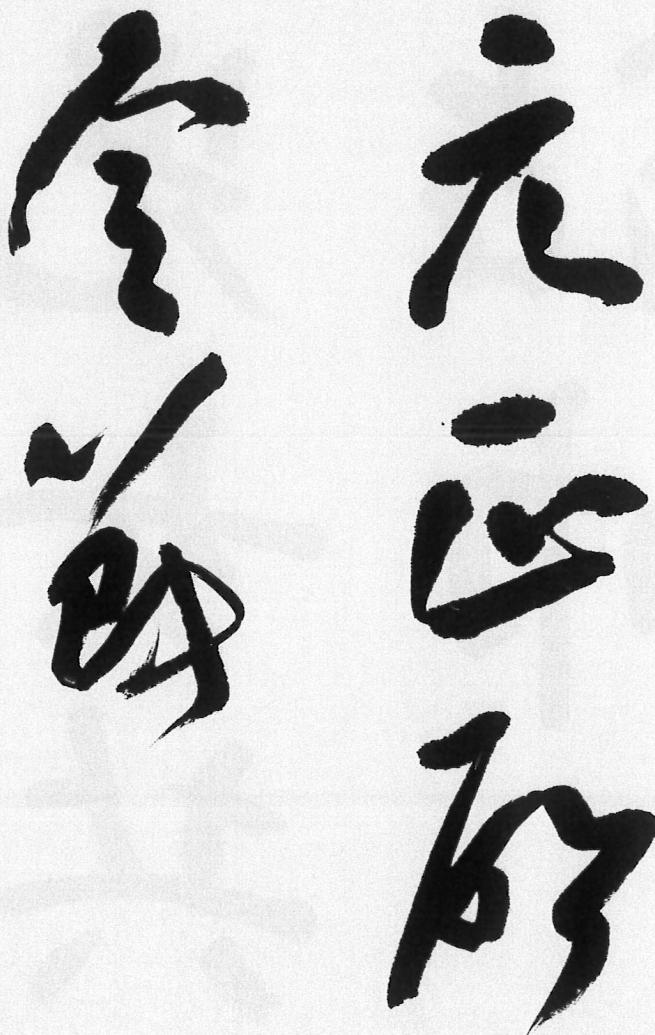
梅 川 桂 龍 書

沾 児
巾 女
共

児女と
共に巾を
沾すを

福 原 曉 雲 臨

げんしとう れいせつ ひらく
元正に令節を啓く



陰會日
之稽山

梅川桂龍臨

蘭亭叙 東晉 王羲之

曾稽山陰之

魏故中書令秘書監
使持節督兗州

右僕射定襄郡三郭
閭下蓋太上美峰書有立德

古琴彈氣風吹坐山
閣臨時月照林美峰書
可許臣請會相爲孔
子廟置百石卒美峰書
尚書於今便向下座州
縣軍城之禮美峰書

野中恵花

田村和子

弘田賀峰

中平美峰

岡林邦心

故子卿嘗之此種
波段桃以生也

百尋下臨則崢嶸千仞
珠璧文映金碧相

首少終以一瞬
生亡亦觀之分物

十一月日全紫光祿
大夫檢核刑部

孟秋之小及急勿
老梅子年志學

橋本祝子

大野美賀

西森令泉

坂本碧香

岡本空仁

条幅当選作品 出間桂堂 選評

★天位

岡林邦心君＝鄭羲下碑の深い線質をとらえて仲々の作。
中平美峰君＝全体の流れを余白、大小などで巧く作り大佳。
弘田賀峰君＝線質も良く余白も充分。佳作だと思います。
田村和子君＝隸書が板について見ごたえがします。益々の
加勉を。

野中恵花君＝氣宇大、堂々とした作品です。

★地位

岡本空仁君＝章法は上手、いつも感心しています。これか
らは単体の研究も。

坂本碧香君＝混雜した箇所もあるが、全体に素朴でまじめ。
性格が出ています。

西森令泉君＝良いものを勉強されている。流れが楽しめる
作。

★人位

大野美賀君＝一紙を圧する気迫を感じます。立派な作。
橋本祝子君＝最後まで氣脈を感じます。大佳。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

1月の審査は23日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は高知会館です。

日常
話題
の

中學一年課題　廣末幽念書

當給番食良

時 少
代 年

小学五年課題 隅田亘心書

公正公

大明

待
春
を
つ

小学三年課題 大原桂園書

小川

石の

まだ
ある

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

そ
と
ら

学 校 名	太一は、いかりを下ろし、
年 級	海に飛びこんだ。はだに水の感触がここちよい。
段	しこんだ光が、波の動きにつ
氏 名	れ、かがやきながら交差する。 耳には何も聞こえない。

学校名	町へ入るとすぐの四つ角に、
年	げた屋さんがあつて、大きな
級段	板が出でいます。その前を通
氏名	るとき、おみつさんはふと足 を止めました。

ウナギは、日本各地の
川や池にすんでいます。
それなのに、なぜ、はる
か南の海にまで調査に来
るのか、不思議に思う人
もいるでしょう。

学校名

四年

級段

氏名

学校名	俳句は、五・七・五の
三年	十七の音でできて、います。
級段	「菜の花」は春の花です。
氏名	このような、俳句の中で きせつを表す言葉を「季語」といいます。

がっこう
二
ねん
きゅう
うん
なまえ

そうと水の中を
のぞきこみました。
池の水がさらさら光
つて、ふたりの顔が
うつりました。

がっこう
一ねん
きゅう
なまえ

に、
出、
ま、
し、
た。
村、
の、
す、
も、
う、
大、
き、
く、
な、
つ、
て、
か、
ほ、
ち、
や、
か、
ぼ、
ち、
や、
た、
ろ、
う、

がっこう				
ほん	たん	さくらんげ	すいせん	
きゅう なん	ぼん	ぼうそう		
なまえ				

お知らせ

● 第61回南国市展

奨励賞 西山極山

● 第32回中岡迂山記念全国書展

無鑑査選 奨励賞 入選

入選
(高等学校の部)

松本 紅皓 絵月 岩谷 岩堂 皓月 奥水 石山 施峰 梅紅 極千 邦心 岡西 田林 心子 岡武 仁仁 岡原 美空 梅桂 仁仁 龍雲 暁桂 龍曉

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師範 三千円
★準師範以下一般 二千円
★学生 一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

- ① 昇段の年月日
- ② 学生は学校名と学年
- ③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

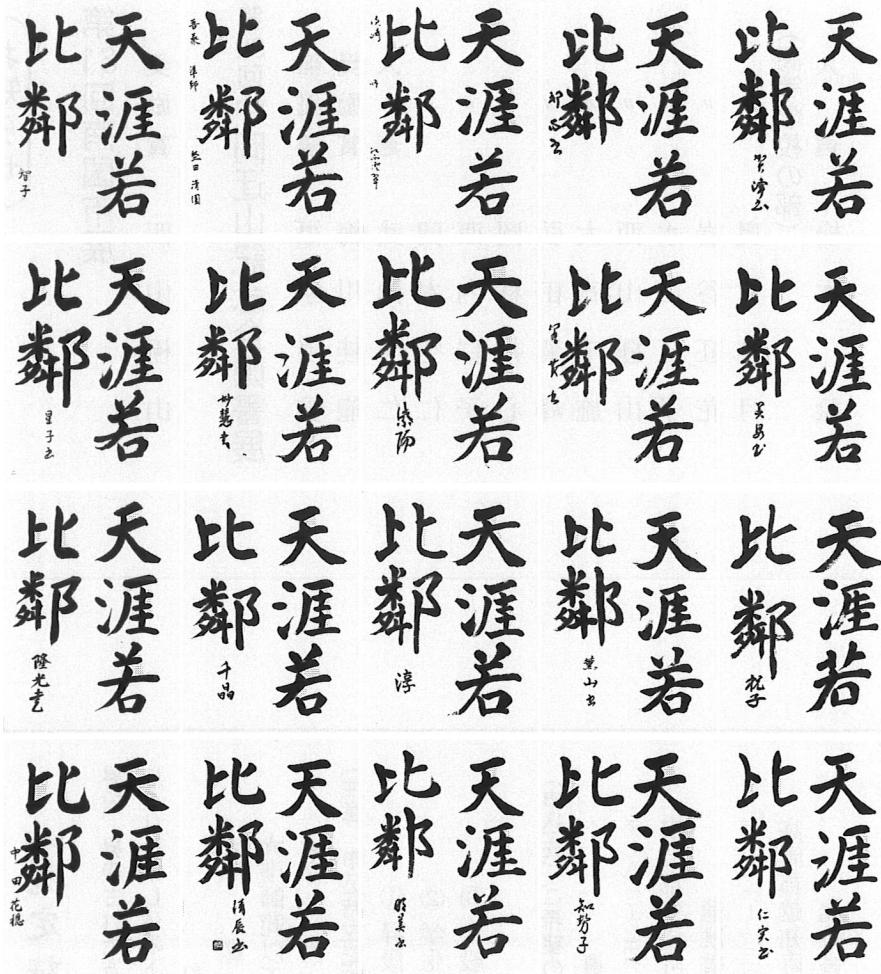
〒七八一-一七四一二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一-一三〇一

高岡郡越知町越知甲一二一七一六
龍跳書道会 梅川桂龍



(一段目) 福原曉雲 選評
賀峰君 || 生氣ありて、一点一画文字構成ぬかりなし。

邦心君 || 前者に同じ、落款の多墨記載のとき少し落とすと明るくなる。

澄翠君 || 筆先を大切に使い品良くまとめています。

清園君 || 運筆・線に抑揚ありて、良く伸びている。

智子君 || 文字の構成作りに気配り有り。新鮮な作。

美泉君 || あと一步の感。文字構成、筆使い丁寧にするともっと良くなります。

(二段目) 廣末幽念 選評
里花君 || 線が強く迫力あり。

紫陽君 || 字々明るく端直な作。

妙慧君 || 落ちつきあり、堂々とした作。

星子君 || 線が伸びて統一感のある作。

祝子君 || 筆力あり、安定感のある作。

(三段目) 塚地桂峰 選評
薰山君 || 達者な運筆で流れ良し。

淳君 || 線が強く動きを感じる。

千晶君 || 力みなく明るい作。

隆光君 || 力強く明るい作。

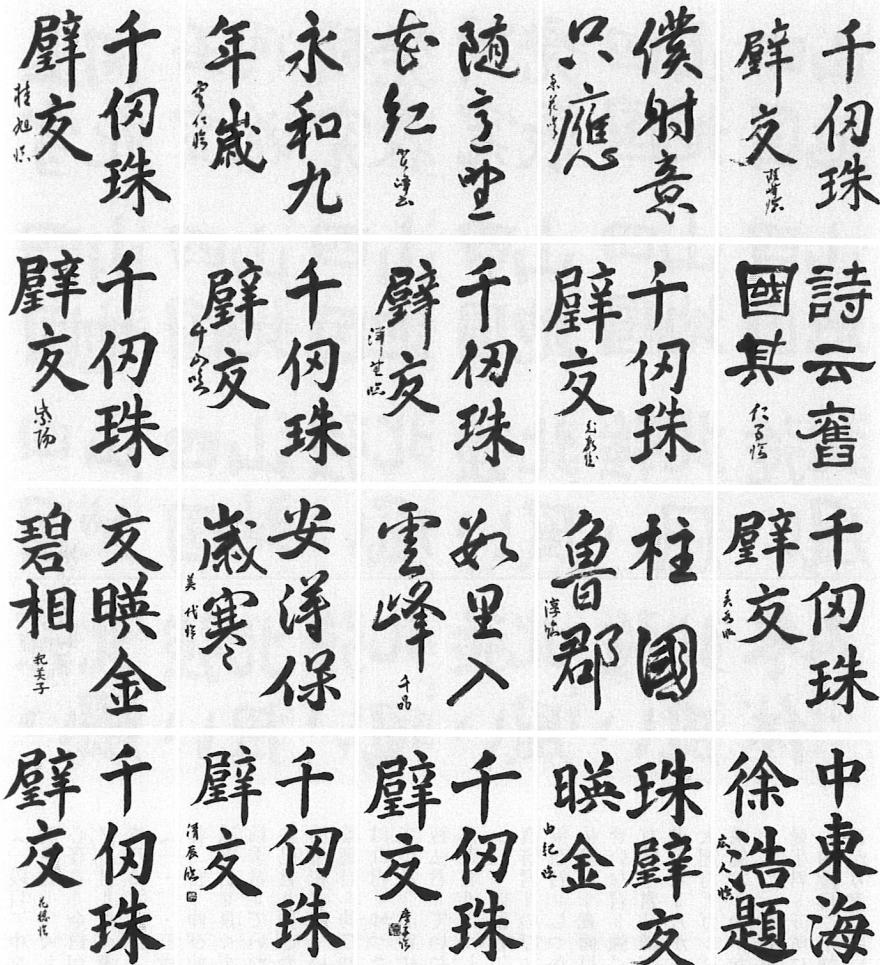
仁実君 || 線質良いのがやかな作。

知勢子君 || 力強く動きも良し。

(四段目) 西山極山 選評
明美君 || 厳しい線。堂々としている。

清辰君 || 安定感あり、落ちついた作。

花穂君 || 明るくのびやかな作品。がんばつて。

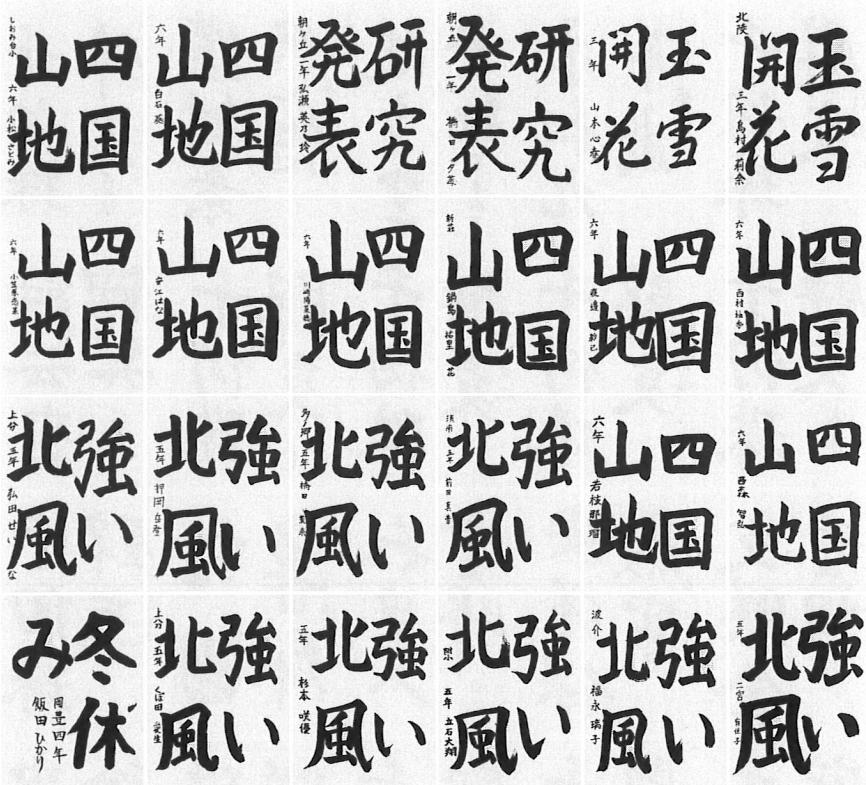


(一・二段目) 梅川桂龍 選評
桂峰君||筆先銳敏で、紙背に筆が徹し佳。

（二・三段目）大黒仙雲 選評
恵花君||躍動感あふれ、迫力あり。賀峰君||厳しい線質で緊張感あり。空仁君||温かみのある線で健康な作。桂旭君||達者な運筆で重厚感もある。仁子君||筆圧の変化、墨量の変化と共に上手い。

（三・四段目）岡崎綠水 選評
洋堂君||気力ありて動きを感じる。千山君||動き大きく作品のスケールをよくしている。紫陽君||用筆正しく作品が明るい。美水君||自然な用筆で整つている。雅号の位置を考えるとよい。

（四段目）野島桂山 選評
慶子君||線はよく伸びてバランスも良い。良い。清辰君||堅実な書きぶりに好感がもてる。



(一段目) 中学部

大八木洋女
選評

莉奈君||字々しつかりとして又美しい。
心春君||余白が詩にマッチしている。

北陵
三年島村莉奈

六年白川松季

六年西田智恵

五年吉田昌子

(一・二・三段目) 小学六年
葵君||伸び伸びとして明るい作。

岡林邦心
選評

夕苺君||良く書き上げています。
英乃玲君||動きあつて良いですが、余白の研究を。

選評

祐里花君||ていねいでよくまとめている。
菜穂君||伸び伸びと書いている。

選評

はな君||ゆつたりとして良くまとめている。
恋菜君||前者に同じ。

選評

那瑠君||どつしりと書いている。「四」の形が残念。
(三・四段目) 小学五年
佐々木港花
選評

真音君||のび／＼と書けています。
茉奈君||しつかり書けています。

選評

岳登君||真面目さが出ています。
せいいな君||強く書けました。

佐々木港花
選評

有佳子君||線が丸くて暖かいです。
璃子君||几がまえの二筆目の折れに注意。

佐々木港花
選評

大翔君||ガンバレガンバレ。
咲優君||ゆつたりとした気持ちで書くとともに良くな

ると思します。

愛生君||元気に書くともつとく良くなります。
(四段目) 小学四年
ひかり君||強い線でよくまとめています。
深瀬緑堂
選評



(一・二段目) 小学四年

真里君|| 大らかで明るく書けています。

美陽君|| 明るく素直な作品。

维那君|| 右払いにもう少し余裕があればもっと良くなる。

結愛君|| まじめに努力しています。

わと君|| よく体が動いています。がんばって書いて下さい。

柚汰君|| よくまとめています。がんばって書いて下さい。

杏実君|| 後が楽しみ。沢山書いて下さい。

(二・三段目) 小学三年 河村容舟 選評

陽菜君|| よくまとまってています。

輝翔君|| 元気に書けています。

風佳君|| しっかり書けています。

一乃君|| ていねいに書けています。

いつき君|| 元気に書けています。

結衣君|| もちついて書けています。

(三・四段目) 小学二年 佐竹江月 選評

なの君|| まじめにかけています。もう少し元気に。

來音君|| のびやかに書けています。

一花君|| げんきよく書けています。

改太君|| 明るくのびやかに書けています。

悠成君|| ていねいでじょうずです。

遙音君|| 力強く書けています。

(四段目) 小学一年 ようちほいく 別役美佐 選評

実咲君|| ようずにしつかりしてしています。

あさひ君|| 元気に書けています。

あお君|| のびのび書けています。

たいき君|| ゆつたり書けています。

よしひさ君|| 力いっぱい書けています。

硬筆優秀作品

夜須 白石 葵
西村 柚季

蓮池 刈谷 天海
細川 漢香

須崎 森田明日香
一ツ橋 濱渦 愛夏

長岡 千春
戸波 戸田 彩希

浦ノ内 岡本 拓真
越知 夏芽

久礼 市川 笑梨
二宮有佳子

久礼 中平 千友
浦ノ内 藤田 柚葉

甲浦 用浦 川田 聖剣
多ノ郷 森光 阳菜

浦内六 四 四 越知 夏芽	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	よみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	よみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
内六 五 五 岡田 夏芽	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
浦内五 五 五 長岡 五 五 五 二宮 有佳子	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
内五 五 五 小五 五 五 中平 千友	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
浦内四 四 四 藤田 柚葉	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
内四 四 四 森光 阳菜	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
浦内三 三 三 甲浦 小五 五 五 川田 聖剣	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
内三 三 三 多胡 小三 三 三 戸波 戸田 彩希	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
浦内二 二 二 長岡 二 二 二 森光 阳菜	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
内二 二 二 多胡 二 二 二 戸波 戸田 彩希	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?
浦内一 一 一 長岡 一 一 一 甲浦 一 一 一 戸波 戸田 彩希	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?	立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へ向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されてい까요?

硬筆優秀作品

藤沢
浦ノ内 渡部一翔
宮地輝翔

上分 須南 前田來音

うらの内 ながおか 森田実咲

うらの内 みやじしゅんと 山本こうせい

けいさつ犬のように、人間のためにはたらく犬もいます。はたらく犬は動物としての特長を生かしたり、おさえたりして訓練された犬なのです。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

けいさつ犬のように、人間のためにはたらく犬もいます。はたらく犬は動物としての特長を生かしたり、おさえたりして訓練された犬なのです。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

けいさつ犬のように、人間のためにはたらく犬もいます。はたらく犬は動物としての特長を生かしたり、おさえたりして訓練された犬なのです。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

けいさつ犬のように、人間のためにはたらく犬もいます。はたらく犬は動物としての特長を生かしたり、おさえたりして訓練された犬なのです。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

空をじゅうにと
べるものがあつたらいいと思うな。雲の上をさんぼしたらきっと楽しいよ。

長岡 一ツ橋 氏原一乃 二宮嘉奈子

長岡 北村さくらう子 うらの内 津野凌功

やすき 谷わきあいら 西村あさひ

すさき うらの内 もうり こはな まさきよしひさ

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代									
4年 2月 規定	地 名	★八級 江ノ口○宮崎香羽	岡 豊 西田圭吾	上分○田なべり音 附属○江頭咲良 上分やなぎ本きい 岡崎あいり	一つ橋○田辺蒼月 長岡北村さくらこ 竹内ひなこ	秦 池川 ○藤崎杜真	長岡 西宮咲希 島村倖空	岡 豊 池川つるいかづき	多ノ郷 藤川一花 宮脇改太 安田悠成
		★五級				★四級	★三級	★一級	★初段 須崎 谷口おとは
		★六級 池川○片岡亞季紗 ○西森光	馬路 ○小松太緒	夜須 佐古たむらけんご	小高坂 川西こうすけ	長岡 森田実咲	審査 別役 美佐	もうひつ一年 もうち・ほいく	秦 ○川上詩乃 吾桑 梅原あおま
				★五級 須崎 浦ノ内○正木芳尚	須崎 須崎○毛利こはな	須南 ○西村たいき	審査 別役 美佐	もうひつ ようち・ほいく	★新規 須南 西村ゆまな
				★五級 須崎 浦ノ内○正木芳尚	須崎 須崎○西村たいき	須南 田中あお	須南 田中あお	吾桑 ○松坂みおね 吾桑 ○高橋そら	★九級 須崎○谷脇あいら
	段								★十級 須崎○西村ゆまな
	級								★九級 須崎○西村ゆまな
のり代									
4年 2月 隨意	氏 名	★九段 上分○舟見台 須崎 潮見台 多ノ郷 内	越知 大篠 夜須 浦ノ内	浦ノ内○西村柚季 松浦小松 原茉鈴 広來	西野心 堅田愛 森田太 櫛瀬太 里花季 季	清新 一つ橋 多ノ郷 黄之瀬 浦ノ内 朝比奈 美空	久礼 漁島なみ 中平暖 渡邊紗 己	夜須 浦ノ内 白石 美島望 中平暖 渡邊紗 己	審査 江西 澄翠
						★九段 須崎 浦ノ内○西村柚季 松浦小松 原茉鈴 広來			★特待生 硬筆六年
									★★八段 須崎 浦ノ内 青木美那 湯浅桧 竹内雄 安江那瑠 星乃海 翔
	臨 は出典名								○印は昇級

第65回 硬筆成績

○印は昇級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株)



高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

★三段	越知 馬路 越知 黒石愛菜 大野柚寿	須南 一ツ橋 蓮池 戸辺 楓
★初段	越知 多ノ郷 越知 細川凜香 岡林柚七	須南 ○政岡陽太 宮本楓馬
★二級	多ノ郷 橋田 韶 細川凜香 岡林響	一ノ加江 上ノ加江 上分 ○政岡陽太
★七段	久礼 上分 市川笑梨 薦田	久礼 上ノ加江 市川笑梨 薦田
★六段	弘田 多ノ郷 せいな 吾桑	弘田 多ノ郷 せいな 吾桑
★五段	松浦 多ノ郷 大陽 森岡	松浦 多ノ郷 大陽 森岡
★三段	立石 久礼 大翔 松本	立石 久礼 大翔 松本
★二級	久礼 附屬 松本 立石	久礼 附屬 松本
★九段	越知 多ノ郷 美利 正木	越知 多ノ郷 美利 正木
★八段	須南 須南 長岡 押岡	須南 須南 長岡 押岡
★一段	浦ノ内 一ツ橋 内田 中田	浦ノ内 一ツ橋 内田 中田
★三段	長岡 越知 明日香 片岡	長岡 越知 明日香 片岡
★四段	波介 久礼 真音 片岡	波介 久礼 真音 片岡
★五段	一ツ橋 久礼 森田 和田	一ツ橋 久礼 森田 和田
★六段	福永 久礼 璃子 田所	福永 久礼 璃子 田所
★七段	紗亞 久礼 弥莉 晴陽	紗亞 久礼 弥莉 晴陽
★八段	須南 須南 長岡 押岡	須南 須南 長岡 押岡
★九段	浦ノ内 一ツ橋 内田 中田	浦ノ内 一ツ橋 内田 中田
★一段	長岡 越知 美利 正木	長岡 越知 美利 正木
★三段	須崎 須崎 ○濱渦	須崎 須崎 ○濱渦
★四段	一ツ橋 須崎 丸 仁	一ツ橋 須崎 丸 仁
★五段	高橋 久礼 咲翔 仁	高橋 久礼 咲翔 仁
★六段	松本 久礼 梨杏 仁	松本 久礼 梨杏 仁
★七段	武内 一ツ橋 心桜 吾桑	武内 一ツ橋 心桜 吾桑
★八段	越知 多ノ郷 桃加 今橋	越知 多ノ郷 桃加 今橋
★九段	上ノ加江 ○中田	上ノ加江 ○中田
★一段	久礼 飯田	久礼 飯田
★二級	豊 一ツ橋 千友 日浦	豊 一ツ橋 千友 日浦
★三級	高橋 一ツ橋 悠守 中越	高橋 一ツ橋 悠守 中越
★四級	松本 一ツ橋 梨杏 武内	松本 一ツ橋 梨杏 武内
★五級	紗亞 一ツ橋 弥莉 中越	紗亞 一ツ橋 弥莉 中越
★六級	吾桑 一ツ橋 千春 武内	吾桑 一ツ橋 千春 武内
★七級	森田 一ツ橋 世花 日浦	森田 一ツ橋 世花 日浦
★八級	千春 一ツ橋 太花 靖仁	千春 一ツ橋 太花 靖仁
★九級	藤田 一ツ橋 葉 靖仁	藤田 一ツ橋 葉 靖仁
★一段	浦ノ内 一ツ橋 内田 飯田	浦ノ内 一ツ橋 内田 飯田
★二級	長岡 一ツ橋 豊 飯田	長岡 一ツ橋 豊 飯田
★三級	須崎 一ツ橋 健琉 奥田	須崎 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	岡崎 一ツ橋 愛 結愛	岡崎 一ツ橋 愛 結愛
★五級	浜田 一ツ橋 梓 奥田	浜田 一ツ橋 梓 奥田
★六級	水尾 五所 庵 奥田	水尾 五所 庵 奥田
★七級	庵 五所 梓 奥田	庵 五所 梓 奥田
★八級	庵 五所 梓 奥田	庵 五所 梓 奥田
★九級	庵 五所 梓 奥田	庵 五所 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	西田 一ツ橋 紗菜 奥田	西田 一ツ橋 紗菜 奥田
★五級	岡豊 一ツ橋 後藤	岡豊 一ツ橋 後藤
★六級	西田 一ツ橋 まなか	西田 一ツ橋 まなか
★七級	岡豊 一ツ橋 まなか	岡豊 一ツ橋 まなか
★八級	西田 一ツ橋 まなか	西田 一ツ橋 まなか
★九級	西田 一ツ橋 まなか	西田 一ツ橋 まなか
★一段	浦ノ内 一ツ橋 内田 後藤	浦ノ内 一ツ橋 内田 後藤
★二級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★三級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★四級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★五級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★六級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★七級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★八級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★九級	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤	上ノ加江 一ツ橋 ○後藤
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★一段	須崎 一ツ橋 豊 飯田	須崎 一ツ橋 豊 飯田
★二級	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田	岡崎 一ツ橋 健琉 奥田
★三級	浜田 一ツ橋 健琉 奥田	浜田 一ツ橋 健琉 奥田
★四級	水尾 一ツ橋 庵 奥田	水尾 一ツ橋 庵 奥田
★五級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★六級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★七級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★八級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田
★九級	庵 一ツ橋 梓 奥田	庵 一ツ橋 梓 奥田

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代
4年
2月
毛筆校名
保学年

氏名

段級

のり代

4年
2月
硬筆

校名

氏名

段級

★五級 一ツ橋○辻信之助	上ノ加江 ○政岡明里	浦ノ内 岡林夢大	★六級 一ツ橋○辻信之助	上ノ加江 ○政岡明里	浦ノ内 岡林夢大	★五級 一ツ橋○辻信之助	上ノ加江 ○政岡明里	浦ノ内 岡林夢大	★五級 一ツ橋○辻信之助	上ノ加江 ○政岡明里	浦ノ内 岡林夢大	★二段 須南 ○前田來音
★三段 須崎 ○須崎 十級編入	馬路 ○上利綺沙	吉田心花	★七級 新規 須崎 九級編入	馬路 ○上利綺沙	吉田心花	★初段 須崎 九級編入	馬路 ○上利綺沙	吉田心花	★四級 須崎 九級編入	馬路 ○上利綺沙	吉田心花	★三級 須崎 九級編入
★二級 須崎 ○須崎 ○木下 みゆり	須崎 ○須崎 田なべ 上詩乃	須崎 ○須崎 森田 置りはる	★一級 須崎 ○須崎 西宮咲 阿漕結花	須崎 ○須崎 岩田 駒崎しんじな	須崎 ○須崎 岡豊 田なべ 上詩乃	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★四級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★三級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒
★二級 須崎 ○須崎 田なべ 上詩乃	須崎 ○須崎 藤沢 駒崎しんじな	須崎 ○須崎 岡豊 吾桑 ○須賀勇介	★一級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	★五級 須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒	須崎 ○須崎 江ノ口 宮崎莉緒
★二級 須崎 ○須崎 佐古たむら けんご	須崎 ○須崎 夜須 谷脇あいら 西村あさひ	須崎 ○須崎 小高坂 河西こうすけ	★一級 須崎 ○須崎 長岡 森田実咲	須崎 ○須崎 長岡 森田実咲	★三級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水	須崎 ○須崎 審査 石川 美水	★三級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水	須崎 ○須崎 審査 石川 美水	★三級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水	★三級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水	★三級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水	★二級 須崎 ○須崎 審査 石川 美水
★二級 須崎 ○須崎 佐古たむら けんご	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	★五級 須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	★五級 須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	★五級 須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	★五級 須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	★五級 須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠	須崎 ○須崎 久礼 ○宮田菜瑠
★二級 須崎 ○須崎 田中あお	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	★十級 須崎 ○須崎 吾桑 ○宮崎ほのか	須崎 ○須崎 吾桑 ○宮崎ほのか	★九級 須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	★九級 須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	★九級 須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	★九級 須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと	須崎 ○須崎 久礼 ○松山たくと
★二級 須崎 ○須崎 田中あお	須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子	須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子	★八級 須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子	須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子	★五級 須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子	須崎 ○須崎 いづみ よひさま まるばし ○永森楓子						

令和4・5年度 龍跳競書課題

小一 ・ 保	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中三 ・ 二	学年 /月
たけ	はる	社会	式入学	祝入 い学	の常 木緑	実不 行言	彼方 春山 の	四月
こえ	おと	水音	風そ よ	の子 日供	の羊 筆毛	紀世 界	街路 樹	五月
かさ	こい	父母	葉わ か	合乘 いり	調色 和の	放学 送校	静和 寂敬	六月
うり	せみ	川風	川天 の	大夏 空の	の谷 水川	風花 月鳥	川上 の	七月
すな	そら	台風	み夏 休	花七 火色	の田 道舎	知温 新故	清風 窓下 有	八月
あき	こめ	生命	山秋 里の	高秋 し空	き空 里清	技科 術学	思暮 郷雲	九月

県展課題決定後に龍跳誌にて発表します。

県展
課題
十月

ひと	きく	外交	世月 界の	世星 界の	理想 高い	泰天 平下	竹花 情意	十一月
つる	ふゆ	市場	用火 心の	北寒 風い	き福 券引	文古 明代	遠山 初雪 の	十二月
こま	たかる	雪白 い	の成 日人	の初 出日	の天 美然	休冬 暇期	高風 潔霜	一月
ひる	つこ た	海あ ら	小春 川の	小山 道の	の卒 歌業	当給 番食	な話 的印象的	二月
した	らさ く	き豆 ま	が七 ゅ草	節桃 句の	伝古 統い	写記 真念	答弁 明快な	三月

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一一一

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話 (0八八九) 三一五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (0八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話 (0八八七) 二九一一六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江西澄翠

電話 (0八八九) 四一一一〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へ「連絡下せ」と)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (0八八九) 四七一〇七一一番

あとがき

「桃栗三年柿八年ユズの大ばか一八年」柚子の収穫真つ盛りの馬路村へ子供硬筆教室に通つて十年以上、子供達も休むことなく出席し、ワイワイガヤガヤ楽しく過ごしています。最近は、コロナウイルスの影響で練習時間も短縮になつてゐるが、眞面目に書いて行つてくれる。

○中岡迂山書展久しづぶりに見に行つて來ました。会員の皆さんも多数出品しており、頑張つてゐるなあと感心しました。この書展は他県からの応募(臨書作品)が多く、さまざまな書体、書風を見ることができ勉強になりました。

○今年も残りわずかとなりました。コロナウイルスも高知県は現在落ち着いていますが、世界的に新種のオミクロン株が猛威を振るつてゐます。気を抜く事ができません。

このなか龍跳の年間行事も、会員の皆さん之力で無事に乗り切つた事、ご苦労様でした。
新年度も力を合わせて頑張りましょう。

月例競書課題

保育	年	年	年	年	年	小学六年	年	年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別 締切日
そら	だるま	川の小石	春を待つ	公明正大	少年時代	給食当番	日常の話題	任意	兒女共沾巾	任意	任意	二月二十日締切	
はる	さくら	若みどり	山水の美	工場見学	学力試験	記念写真	大志を抱け	任意	好雨知時節	任意	任意	三月二十日締切	

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{Ⓐ} & 12冊 \quad \text{Ⓐ} + \text{Ⓐ} = 290\text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓑ} & 17冊 \quad \text{Ⓑ} + \text{Ⓑ} = 360\text{円} \times " \\ \text{Ⓒ} & 30冊 \quad \text{Ⓒ} \times 3 = 630\text{円} \times " \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 Ⓛ 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 Ⓜ 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 (有) 笹岡印刷所	龍跳書道会 電話(087)二九一二六五〇	福原暁雲(本部) 安芸郡東洋町河内三〇四 電話(087)二九一二六五〇	中平美峰 江西澄翠 野島桂山 福原暁雲
電話(088)四二一〇二四四			

月例作品送り先
〒783-0081 南国市片山四九〇
西山極山宛
(088)865-8857